



ろくべん館だより

こんにちは。ろくべん館の管理人の森上です。昔から「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、ようやく猛暑が和らいで朝夕が涼しくなってきました。



囲炉裏端の様子

さて、今回はろくべん館の一角にあるふるさと体験室についてお話ししたいと思います。

今まではろくべん館に入館すると、玄関でスリッパに履き替えて館内を見学していくのですが、中で一度履物を別なスリッパに履き替えなければならない場所がありました。そこが「ふるさと体験室」となっています。部屋名からすると元々は、その部屋で様々な農業体験などを実施する計画があったのではないかと思います。

現在は、昔の農機具などの展示や民家の一室が再現されています。この部屋は、できる限り昔のことを忠実に再現しようとしていますので、地面が土間で土ぼこりが舞うような状態となっています。

その土間には、農家で使用していた千歯こき、大釜、大鍋、縄ない機、むしろ編み機など昔ながらの道具が数多く展示されています。部屋全体が常に土ぼこりぽい状態なので、今回の工事で土間に加工を施しほこりの出ない状態に改修いたします。履物を履き替える必要がなくなり、見学に来られた方が気持ちよく鑑賞していただけるように改善します。



農機具等

また、ふるさと体験室の奥には、昔の民家の居間が再現されており、裸電球の下におじいさんとおばあさんが囲炉裏端を囲んで静かにたたずんでいます。

また、居間の横には馬小屋があり大きな馬がたたずんでおり遠くから見ると本当に生きているように感じられることと思います。この場所は、改修後も同じように残っていきます。

ふるさと体験室は今回の改修工事の中では大きくは変わらない場所となりますがより良い展示ができるように考えていきます。